

会 議 の 経 過

1 開 会 午後3時00分

(小椋教育長) これより第9回倉吉市教育委員会定例会を開会する。

2 前回議事録承認

3 議事録署名委員の選出 仲田委員

4 議 事

(1) 議案第18号 令和元年度教育費補正予算について

(資料に沿って、各課・所長説明)

教育長 何かご質問等があればお願いします。

委 員 市営庭球場の人工芝のつなぎ部分は、これからされるうちの一部でしょうか。

生涯学習課長 10面あるうち、下の段と上の段がありまして、下の段が4面、上の段が6面ですけど、下の段にはナイター照明があります。今回は交付金が国の方から各自治体に配分があるんですが、配分の枠の中で整備ができる範囲を、先ずは4面ということで向かいたいと計上しています。10面は目指していきたいと思いますが、基本的には交付金がベースですので、状況をみながら進めていきたいと思っています。

委 員 できそうだったら進めるということですね。わかりました。

教育長 テニスコートの要望は何年も前から、ずっとあったんですけど、なかなか順番にならなくて、野球場のことがあったり、ラグビー場の急ぐことがあったりして、ようやく着手ができるようになりました。

委 員 事業債だから借金ですよ。返さなくてはいけませんよね。

生涯学習課長 はい。ものによっては、交付税措置がなされるものがあります。

委 員 このあたりを利用者に理解していただかないと、要求すれば良いということにならないよう市報等でいろいろとPR、財政状況は説明してありますけど、理解していただきたいと思います。

そして東中の件ですけど、マンションが建つんですね。今でも危ない出入りなんですけど、マンションが際まで建つと、非常に危ない道路事情になるのではないかと思います。そのあたりは建設主体の施主さんと、無理は言えないかもしれないんですけど、見晴らしが良いような対応を要望していただきたいと思います。

教育長 今聞いている計画では、医院側の方がマンションの駐車場になり、ギリギリまで建物が建つということではないようです。反対側に建物が建つようですので、多分車の出入りとか交差点のことをご心配いただいていると思いますけど、ものすごく視界が遮られるということにはならない感じがしています。そして、もうひとつできるかどうかお願いしていることは、もしかしたら、こちらでしなくてはいけないかもしれませんが、倉庫のあった敷地と東中に入ってくる通路との間にブロックが少しありますが、そのブロックの横にちょっと道路側にも少し高いブロックがあるんです。境界がどうなるのか分からないですけど、低い方のブロックを撤去してもらえば、大分楽になると個人的には思っています。どうなるか分かりませんが。

教育総務課長 あれは民地側のブロックです。

委員 工事のときに撤去してもらおうようお願いしてはどうでしょうか。
教育総務課長 相談はできると思います。
委員 相談はできますね。取る取らないは施主側の判断ですけど、今までずっと出入りされてきたわけですから相談された方が良いでしょう。
教育長 できるところまでは努力はしたいと思っています。
他にはいかがでしょうか。
(各委員意見なし)・・・承認

5 教育長報告

教育長報告（教育長 別紙のとおり）

教育長 何かご意見があればお願いします。
委員 プログラミング教育は何年生からですか。
学教教育課長 1年生からです。全学年です。
教育長 現段階では、文部科学省が示している何年生のどの教科のこの単元という事例に示されているところが少しあります。自分たちで考えて、この学年の、この教科で、こういう風にやってみて良いというような、いくつか分かれていて、学校現場で何をすれば良いかという困り感があります。
委員 それは専門の先生がいた方が良いでしょうか。
教育長 プログラムが組めるようになることが目的ではなくて、プログラムを組むときに、どのように順番を整えていけば良いか、整理をすれば良いかという考え方です。例えばプログラムを組むとき、模型の車を5m進ませ、止まってから右に3m進ませるとか、道筋を作っておいて、そういうふうにか動かすためには、どうプログラムするかということ学びます。
委員 パソコン上やタブレットなどを使って、するようなことになるのでしょうか。
教育長 そういうことも使用するでしょうし、その考え方を、例えば算数のこの教材の時にどう使うかということの方が大事なかなと今のところを思っています。プログラム自体は全然難しくなくて、ブロックのようなものはめていく、組み合わせていくというものです。例えば「3秒待つ」とか「まっすぐ進む」というようなブロックがあって、それをポコンポコンはめていって、トータルのプログラムができていくというものです。
他にはありますか。
委員 適正配置の件ですけど、今現実に学校に通っている保護者の方に意見を聞くというのは本当に良かったなと思います。本当はもっと早くそういうことをしなくてはいけないと感じていました。こういう立場にいと、話を聞かれる人がいます。小規模校の方が、「私たちは、このままですと子どもを違う学校に通わせたい。本当に、子どもを引越しをしてでも他の学校に行かせたい」とはっきりおっしゃっていたので、やっぱり保護者の生の声を地域の方にもしっかりと伝えないと、本当にそういうことが現実に起きてくるのかなと感じていたので、この度そういう意見を聞ける機会があったということで、そういう声をもっともっと大きくなれば、本当はもっと早くいろいろなことを考えていけるかなと思っていました。良かったと思います。
教育長 後で学校教育課が説明しますが、「たより」を市報に折り込んで配布する予定です。概要版を作っています。今日の資料にも入っていますよね。

学校教育課長 概要版はこちらの資料になります。
教育長 何とか進めるようにしたいと思います。
他にはいかがでしょうか。
(各委員意見なし)

6 報告事項

○学校教育課

(1) 不登校・問題行動の状況について

[以下 非公開]

[以下 公開]

(2) 令和元年度全国学力・学習状況調査（学校別・質問紙）について

(3) 中学校総体中国大会・全国大会出場について

(4) 中堅教員研修会について

教育長 何かご質問等がございますか。

委 員 中堅教員研修会について、23名の方は希望される方で、管理職に向けて意欲がある方でしょうか。ここ5年間、10年間で市の把握できる教職員の方で、研修を全く受けていない方を教えていただけないでしょうか。まんべんなく研修を受けさせるといふ説明を聞いているので、どのような進捗になっているのか、全く刺激を受けずに10年、20年教鞭を執っておられるのか、把握しておきたいと思いますのでお願いします

学校教育課長 全く研修を受けていない者はいません。教職課程の中で、夏休み中に、3年間で全員が研修を受けるものがあります。また教育センターが主になって行っているのは、対象者を限定して、例えば何経年の何年目の者全員が、年間に何回受講ものとか、それに伴って報告書を提出させるようなものがあります。今までに研修を受けていない者はいません。

委 員 23名の年代は45才前後の方ですか。

教育長 今回は40代でした。30代はいなかったと思います。40才超えたところが一番人数的に少ない年代です。

他にはいかがでしょうか。

(各委員意見なし)

(5) 倉吉市安全衛生推進協議会について

○生涯学習課

(1) 令和元年度倉吉市民体育大会について

○文化財課

(1) 塚ノ山古墳の調査成果について

(2) 県埋蔵文化財センター共催「古代まつり in 倉吉」について

教育長 塚ノ山古墳ですが、古墳だったところに民家が建っていて、一番ネックは古墳の形が崩れてしまっていて、前方部と後方部の繋ぎ目みたいな所が幅が狭くなっています。もし大雨が降ったり、また大きな地震があれば、民家の方にこの土が崩れてくる

心配があって、なんとかこれ以上の崩壊を止めて、文化財課としては、このままでも保存したいと思っています。ただ土地の所有者の方は、あまりそうは思っていないからなくて、T3、T4のトレンチは、この民家の玄関へのアプローチの途中になっています。玄関の前のアプローチの芝があるところにトレンチを入れさせていただいて、それを承諾いただいていますので、調査には非常にご協力をいただき感謝していますが、今後、懸案になる可能性があります。貴重な前方後円墳なんですけど、民地なので、見る影もないくらい崩れてしまっています。

委員

本体自体も、この方の所有なんですか。

教育長

はい。埋葬施設は、どこにどんな風にあるか調べきれないということで、分からなかったんですね。

文化財課主任

一番高い所から、横穴式石室か竪穴式石槨か箱式石棺は出てくると思いますが、あくまで調査してみないとそこまでは分かりません。

教育長

範囲を確認するという事だけだったですね。それで確認してもらった結果、緑と青の色で示してしましますが、多分当初はこういう範囲にあった前方後円墳で、その中に民家がみんな入っています。

委員

これは更地にしてしまうんですか。

教育長

本当はそれも若干希望を持っておられましたけど、文化財保護の観点からすると、それはとてもできません。なんとかこのままでも保存したいです。

委員

法的にはどちらが強いですか。

文化財課主任

現状では指定文化財ではございませんので、開発することに対して、縛りをかけることができません。貴重なものですので保存のお願いはするのですが、そこまでは調べていません。但し、本発掘調査をする場合は、開発者側の経費負担ですので、相当経費がかかると思います。

教育長

文化財課長の説明からすると、この志津という村は、関金のほうに抜ける古代の重要ルートらしくて、先程説明がありましたが、大事な遺跡が並んでいる所です。重要な交通路だったそうです。倭文神社、伯耆三宮、伯耆の大事な3つのお宮さんがあります。おうちの所有者の方が困られないよう、当面は何らかの崩れない対策をするところまでは動いてきています。

よろしいでしょうか。

(各委員意見なし)

○倉吉博物館

(1) 令和元年度第1回倉吉博物館協議会報告

(2) 第10回菅楯彦大賞展作家選考会報告

(3) 自然ウォッチング「おさかな教室」「木星・土星と月を見よう」事業報告

教育長

「おさかな教室」ですが、子ども達にこういう体験をさせていただくのは、とても大事な経験だと思いますが、採集したお魚はその後はどうなるのでしょうか。

博物館長

採集した魚は、また川に帰しますし、これは7月の終わりでしたが、今現在8月3日から自然科学展で川魚を中心に展示していますが、元気のないのはそちらで展示しています。また後で放流します。

教育長

子ども達の中には家に持って帰って飼いたいという子はいませんでしたか。

博物館長

それはありますが、結局それをすると影響がある話をしました

方が良いのか、どういう回答だったか向学のためにお聞かせいただければと思って質問させていただきました。

学校給食センター長 この場合は、粉チーズがアレルギーだったんですけど、じゃがいものチヂミの中に、粉チーズの入っていない、除去したものを先ずは食べられた後に、おかわりを希望されて、その時に本当は出してはいけないんですけど、その確認がうまくできなくて粉チーズ入りのチヂミを食べられたところ、調子が悪くなりました。救急車を呼んだりしている中で、子どもさんの方が「トイレに行きたい」と、また、エピペンを打とうとしたけど、子どもさんが「打たないで欲しい」ということがありましたが、その後保護者の方から打ってくださいと言われてまして、10数分20分近く後に、校長が打たれたんですけど、その後救急車で運ばれて、亡くなられたという事例でした。アナフィラキシーショックが起こったときには、たとえ訴えがあっても、トイレに行きたいと言っても、動かすこと自体がダメだということが回答でした。

委員 分かりました。給食センターの事業ということでアレルギー対象の保護者の方とか、学校の養護の先生とか、そういった関係者の方への案内でしようけども、一般の方の案内で、聞いてみたい方への活動というのは別の事業になるのでしょうか。例えば、図書館とかいろいろな場所で、興味のある方が集まって聞かれるということはどうでしょうか。

学校給食センター長 来年以降すぐできるか分かりませんが、将来的には実際3,600人余りおられる中で9%位の児童生徒さんが何らかのアレルギーを持っておられますので、学校の保護者を対象にして、交流プラザ等で開催することを考えていきたいと思えます。

委員 多分、幼稚園とか保育園とかでも、こういう研修、講習会もあるでしょうし、乳幼児では保健師さん等からの話もあるでしょうし、そういったところがまとまって事業として理解を深めていただけるような場所が提供できればと思いましたので、よろしくをお願いします。

教育長 この研修会の財源は、単市ですか。

学校給食センター長 そうです。

教育長 そうであれば広げられると思えます。案内の範囲を広げて、保護者だけに限らず、ご興味のある方は是非ということで。せっかく松田ドクターに来ていただいているんですよ。

学校給食センター長 はい。

教育長 確かにもう少し広げても良いですね。

他にはよろしいでしょうか。

(各委員意見なし)

○その他

- (1) 事業見直しの確認報告について
- (2) 広瀬分校の閉校式典について
- (3) 青少年問題対策協議会について

7 その他

次期委員会について調整し、次のとおり決定

日 時：令和元年9月27日（金）午後3時00分

場 所：倉吉市役所 第3会議室

午後4時40分終了

8 閉会